

3常任委で所管事務調査 担当部署から現状など聞き取り



救急や火災など緊急時の対応について山田消防署を視察する総務常任委員

総務

防災訓練の見直し

総務常任委員会（川村敬一委員長）の調査は、七月十四日、総務、企画財政、税務会計、消防防災の四課に対し行われました。テーマは▽町地域防災計画の見直しの背景と重点施策▽第八次町総合発展計画策定作

業の進捗状況▽納税貯蓄組合の現状と課題▽救急及び火災など緊急時の対応と課題についての四項目。その結果、地域防災計画では「防災マップは子どもにもわかるよう、漫画風絵を入れるなどの工夫が必要」「防災訓練の見直しを検討すべき」など。納税貯蓄組合については「年々組合数は減少してきているが、

議会には、総務、教育民生、産業建設の三つの常任委員会があり、毎年、町の事務・事業の調査や提言活動を行っています。本年度も五月から所管事務調査が始まりました。調査は委員会が担当する役場の部署を対象に行うもので、調査テーマに沿い職員への聞き取りや現地視察が行われています。

教育民生

国保負担の効率化

教育民生常任委員会（吉川淑子委員長）では、七月十五日と八月二十四日、住民生活課、保健福祉課、教育委員会を対象に行われました。テーマは▽国民健康保険事業の運営▽環境、廃棄物処理、リサイクル▽介護保険の現状と課題▽社会福祉施設の管理運営▽町民の医療と健康▽学校教育施設の管理運営▽学校給食についての七項目。

町からは、それぞれのテーマに沿って、事務事業の現状や課題が報告された後、「国保財政の危機を招かぬよう負担の効率化を図るべき」「児童、生徒の

産業建設

地元業者の活用と育成

安全確保を最優先とした予算配分となるよう配慮すべき」など活発な意見の交換がなされました。

産業建設常任委員会（佐々木良一郎委員長）の調査は、五月九日と七月十二日に地域整備課、産業振興課、水道事業所を対象に行いました。テーマは▽柳沢北浜地区土地区画整理事業の進捗状況▽下水道、集落排水処理施設の整備状況▽町道及び排水施設の現状と課題▽観光振興の施策の取り組み状況と船越家族旅行村の現状と課題▽堆肥センターの取り組み▽建設業者格付けの見直し▽水道事業の改良整備についての七項目。質疑では「建設業者格付けの見直しにあたっては、地元業者の活用・育成の観点から、バランスの取れた請負限度額の設定を」「区画整理事業は分離発注を行うなど地元企業を活用すべき」「町道・排水設備などの維持補修予算を増額し住民生活の向上を」など活発な意見が交わされました。